

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真 1) (表 1) などと文中に記載し、右ページに(写真 1) (表 1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄

【様式 2】

No. A-15

部門名： カリキュラム・マネジメント実践部門	エントリー名： 徳島県石井町 浦庄小学校
活動名： 学びのかけ橋プロジェクト 聴く！話す！学び合う！幼小中連携	
解決すべき課題： 対話的な深い学びを実現するために、中学校区の教職員が「聴く・話す・学び合う力の育成」について共通理解を図り、11年間を通して系統的に子ども達の力を積み上げていく。【資料①】	
目標・方針： 2つの小学校が共通理解を図りながら「聴く・話す・学び合う力の育成」に取り組み、具体的な子どもの姿を示す。それにより、幼稚園は目指すべき目標がはっきりし力をつけやすくなる。中学校では、入学後に子ども達同士が違和感なく学習活動に入っていくことができる。また、教科となる道徳科でも対話的な学びの効果的な手段として活用することができるよう取組を考えた。	
活動内容： 幼小中の先生方にインタビューを行い、思いや願いだけでなく、校種が抱える問題や悩みについて把握した。それをもとに、互恵性のある連携となるよう問題解決に取り組んだ。 小学校同士の連携 ○低・中・高学年でつけるべき子どもの姿を協議し、学習のルールを確立する。【資料②】 ○「ペア・グループ学習の仕方」の手引きを作成し、学習活動に取り入れる。【資料③】 ○「学習の約束」を配布し、保護者にも協力してもらう。 幼小の連携 ○幼稚園の先生と1年生の担任による幼小ミーティング（毎月2回程度）【資料④】 ○小学校訪問（毎回、園長先生と数名の園児が訪問し、職員室に挨拶に来たり授業を見学したりする。） 幼中の連携 ○職場体験学習【資料⑤】 ○伝統文化である藍のたたき染めを中学生が園児に指導【資料⑥】 小中の連携 ○6年生や新入生にアンケートを実施し、実態把握【資料⑦】 ○中学校の先生による出前授業の実施【資料⑧】 ○入学説明会で生徒会主催の学校説明やクラブ見学【資料⑨】 幼小中の連携 ○中学校区連絡推進会議の発足（教職員・教育委員会・地域の方が参加）【資料⑩】 ○授業公開デーの設定（お互いの保育・授業の様子や様々な教科指導を参観）【資料⑪】	
活動の成果： ○相手を意識して聴いたり話したりできる子どもが増え、話し合うおもしろさや大切さを体験したことで子ども同士のかかわりが深まった。 ○様々な人とのかかわりや一貫性のある教育により、豊かな心の育成や進学する際の対策につながった。 ○毎年、先生によって学習のルールが変わることがないので、子どもの負担が軽減された。 ○幼小中の子ども理解が進み、全ての教職員で子ども達を支えていこうとする意識が高まった。 ○子ども一人一人に関する情報を共有することにより、個々に応じた効果的な対応ができた。 ○教職員は校種の垣根を越えて授業参観をしたことにより、互いの良さを取り入れ授業研究が深まった。	
アピールポイント（アイデアや工夫）： ○学校間が離れていても、特別な時間や予算をかけなくても、11年間を通した連携ができる取組にした。 ○校種をつなぐ学びのスタイルを創造することで、対話的で深い学びが実現できることを明らかにした。	

【資料①】研究テーマ



【資料②】学習のルールを確立



【資料③】話し合い活動



【資料④】幼小ミーティング



【資料⑤】職場体験学習新聞



【資料⑥】藍のたたき染め新聞



【資料⑦】アンケート結果



【資料⑧】出前授業新聞



【資料⑨】入学説明会の様子と6年生の感想



【資料⑩】中学校区連絡推進会議



【資料⑪】校種の垣根を越えた授業参観と学びの共有

